

各 位

株式会社シンプレクス・テクノロジー  
(コード番号:4340 東証一部)

## インヴァスト証券 「SPRINT」くりっく 365 対応版を採用し、FX システムを刷新 ～くりっく 365 取扱業者のうち 6 社がシンプレクスの「SPRINT」を採用～

株式会社シンプレクス・テクノロジー(本社:東京都中央区 代表取締役社長:金子英樹 以下:シンプレクス)が UMS 事業(\*1)の一環として金融機関に SaaS(\*2)型で提供している個人投資家向けインターネット取引サービス「SPRINT」(\*3)くりっく 365 (\*4)対応版が、このたびインヴァスト証券株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:石井秀明)に採用されました。

シンプレクスは、インヴァスト証券に向けて、注文から約定までのスピードを重視したリッチクライアント(\*5)版「SPRINT Pro」、並びにウェブブラウザ版「SPRINT Basic」を 2009 年 11 月 2 日より提供いたします。

### ■くりっく 365 最大手のシステムニーズに応え、採用へ

インヴァスト証券は、取引所 FX(\*6)「くりっく 365」の最大手業者として、高い機能性と安定性を兼ね備えたシステム刷新の検討を進めてきました。その結果、くりっく 365 取扱業者向けの豊富な導入実績とサービスに対する高い満足度、特にシステムの安定性が高い点を評価し、「SPRINT」の採用に至りました。なお、リッチクライアント版のサービス提供は、くりっく 365 取扱業者初の事例となります。

インヴァスト証券の「SPRINT」採用により、くりっく 365 におけるシンプレクスのシェアは拡大し、採用社数は 6 社となりました。シンプレクスは今後もくりっく 365 取扱業者を含む FX 事業者に向けて、引き続き「SPRINT」の営業を強化してまいります。

### ■2 つの取引所 FX ビジネスに向けて「SPRINT」をサービス提供

シンプレクスは、今回の「SPRINT」くりっく 365 対応版のサービス提供に先立ち、インヴァスト証券が 2009 年 7 月 21 日より展開している「INV@ST 大証 FX(\*7)」についても、同社に向けて「SPRINT」大証 FX 対応版をサービス提供しております。今後もシンプレクスでは、くりっく 365 と大証 FX の 2 つの取引所 FX ビジネスのシステム支援を通して、インヴァスト証券の FX 事業の拡大に貢献してまいります。

株式会社シンプレクス・テクノロジー (東証一部:4340 <http://www.simplex-tech.co.jp/>)

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目ビルディング 15 階

■サービス導入に関するお問い合わせ先

営業担当:溝渕

eMail: [info@simplex-tech.co.jp](mailto:info@simplex-tech.co.jp) Tel: 03-3278-6756

■報道関係の方からのお問い合わせ先

広報/IR 担当:平田

eMail: [ir@simplex-tech.co.jp](mailto:ir@simplex-tech.co.jp) Tel: 03-3278-6750

## ■ シンプレックスの FX システム・ソリューション実績

シンプレックスは金融機関のディーリング・リスク管理に代表されるフロント業務(収益業務)分野におけるシステム開発のリーディングカンパニーです。シンプレックスは2002年からFXシステムを金融機関に向けて提供しており、インヴァスト証券をはじめとして、光世証券、コスモ証券、ジョインベスト証券、スター為替、住信SBIネット銀行、そしあす証券、ソニー銀行、大和証券、ひまわり証券、マネックスFX、マネーパートナーズ、三菱商事フューチャーズ証券、豊商事、ユニマット証券など数多くの採用実績があります。

## ■ 用語解説

- \*1 UMS(ユーエムエス)事業とは、「Universal Market Service(ユニバーサル・マーケット・サービス)事業」の略称です。シンプレックスが自社で企画・投資(開発・保守・運用)を行い、そのシステムをSaaS型サービスとして金融機関に提供する事業であり、シンプレックスの第二次中期事業計画(2008年3月期～2012年3月期)における主要事業の1つです。サービス利用にともなう顧客の収益に連動した「成功報酬型」の課金体系を採用している点が特長です。
- \*2 SaaS(サーズ)とは、「Software as a Service(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)」の略称です。システムを顧客に納入するのではなく、開発ベンダーが自社でシステムを開発・運用し、そのシステムが実現する機能をネットワークを通じて顧客に提供する仕組み・サービスのことを指します。
- \*3 「SPRINT」(スプリント)とは、シンプレックスが金融機関に SaaS 型で提供している個人投資家向けインターネット取引サービスの総称です。「SPRINT」はFXのほか、株式(現物・信用)、先物・オプション、債券、CFDなど豊富な金融商品に対応しています。また、チャネルにおいてもウェブブラウザ版からリッチクライアント版まで充実したサービスラインアップを誇ります。

サービス名称 対応チャネル	対応商品						
	株式 (現物・信用)	先物・ オプション	FX(外国為替証拠金取引)			債券	CFD
			OTC	くりっく365	大証FX		
SPRINT Pro スプリント・プロ リッチクライアントPC版	○	○	○	●	○	-	-
SPRINT Mobile スプリント・モバイル リッチクライアント携帯電話版	○	○	○	○	△	-	-
SPRINT Basic スプリント・ベーシック ウェブブラウザ版	△	○	○	●	○	○	△

●…本案件に該当する商品・チャネル ○…既に導入実績がある商品・チャネル △…今後対応予定の商品・チャネル

- \*4 くりっく 365 とは、日本で唯一のデリバティブ専門取引所である株式会社東京金融取引所に上場している取引所FXの愛称です。取引所FXとは、相対取引の様に、FX業者と直接取引するのではなく、取引所が取引の相手方になる取引です。取引所は複数の金融機関が取引所に提示する為替レートのうち、投資家に最も有利なレートを取引所が合成して取引所で提示し、投資家はこのレートに対して売買注文を出します。くりっく 365 での取引サービスは、金融商品取引法と東京金融取引所の両方の基準を満たした取引資格を取得した業者のみが取扱うことができます。(くりっく 365 取扱業者は2009年9月1日現在で16社です)
- \*5 リッチクライアントとは、専用のソフトウェアをダウンロードすることで、標準的なウェブアプリケーションよりも高い操作性・表現力・機能性を実現するアプリケーションの総称です。
- \*6 FX とは、外国為替証拠金取引のことを指します。証拠金(保証金)を元手に通貨を買い(売り)、為替が有利に変動したときに売る(買う)、為替相場の変動により生じた差額で利益を得ようとする外貨投資の一種です。
- \*7 大証FXとは、株式会社大阪証券取引所の取引所FXの愛称です。